



わの会通信

Ver. 33

◆ H28. 12. 31 発行 発行元：NPO 法人わの会 住所：府中市四谷 6 - 6 - 1 TEL/FAX：042-360-3626 ◆



今年もお世話になりました。来年もよろしくお願いたします

20年誌を作るにあたり、ある年（2003年）の活動を覗いてみました。

この一年わの会はバザー、すもも狩り、関戸の花火観賞、秋の河口湖への紅葉狩り、浅草めぐり、八千穂村一泊旅行、絵手紙教室、コーラス、カラオケ教室、ピアカウンセリング、そして移送などたくさんの活動にみんなで楽しく取り組んできました。そして、会員も増えています。お互いの病気や障害を知り合う二度の学習会（ALSと視覚障害）に続いて今年失語症学習会（ライブ）に取り組みました。「本当に涙が何度も出ました。心から拍手もしました。嬉しそうな笑顔を見て心から嬉しくなりました。出会いの不思議さと、ありがたい気持ちが持てました」こんな感想も寄せられました。

支えあう「わ」、共に作りあげる「わ」、みんなの想いをつなぐ「わ」との願いから生まれたわの会は、NPO法人わの会となり、デイサービス、ヘルプステーション、自立支援など6部門へと活動を大きく広げています。今わの会は、20周年行事の一環としてわの会コンサートに取り組んでいます。戦後日本復興の人びとの心の支えとなった昭和の歌姫「美空ひばり」の名曲を三多摩青年合唱団が男女4部合唱で見事なハーモニーを醸します。いま命の価値が問われています。やまゆり園の惨事のように「弱い命」の価値を問う勢力の台頭があります。そんな中すべてのいのちへの讃歌「いのちかがやけコンサート」のことを友だち、お知り合いをお誘いして、どうぞお出で下さい。この一年、みなさまにとって幸多い一年となりますように



2016年12月 わの会理事長佐々木公一

「わの会 20 周年を学ぶ」 目指したもの



2016年12月21日（水）19時よりデイサービスりんりにて「わの会 20 周年を学ぶ」をテーマとして法人内研修を開催しました。

デイサービスりんりん、ヘルパーステーションあいあいのスタッフや理事、自立支援ネットワークわの会事務局や運営委員など総勢 25 名の参加する中で、設立当初からのスタッフの体験談を交えてわの会の 20 年が語られました。

佐々木理事長が、2000年12月に書かれた忘年会あいさつが取り上げられ、20年間に「府中地域福祉を考えるわの会」としてスタートしたわの会の当時の活動が説明されたあと、この活動が「府中自立支援ネットワークわの会」として発展したことや、NPO 法人格を取得して介護保険事業「デイサービスりんりん」「ヘルパーステーションあいあい」をスタートさせたことが語られていきました。

◆◆◆参加者の発言◆◆◆

◇ガイドヘルパー養成講座開始 30 人が資格取得

府中自立支援ネットワークでは東京都の指定を取って、視覚障害ガイドヘルパーの養成講座を2004年に開催しているが、当事者である自分を事務局スタッフやボランティアが支えてくれることで多くの事務手続きをこなすことができた。それだけではなく、今でも思い出すが京王バスの事業所に昇降のためにバスを使わせて欲しいとか、フォーリスでエスカレーター使った研修をさせて欲しいとか色々頼みに行って、快諾をしてい

ただいた。

国立リハビリテーションセンターの教官に色々アドバイスをもらったり、講師を引き受けてもらえた。自分たちだけでなく、多くの人の、広いつながりに支えられている活動だと思う。

（竹村清 15 年間事務局長勤務、現在副理事長）

◆**デイサービス開設当初は、試行錯誤の連続だった**と思う。今では考えられないこともやったし、利用者さんのニーズにどう応えるかスタッフ間で意見の衝突が有りながらもとにかく動いた。

特に、他市の ALS の利用者さんをどう引き受けていくか難題だった。車椅子に乗れなくなった利用者さんをストレッチャーがわりにマットを敷いて、看護師と一緒に送迎したり、利用者さん本人は、それでもりんりに来たかったのだと思う。

（日景新一 第 1 りんりん相談員）

◇あいあいは全くの未知数だった。



デイサービスは以前の仕事（中途障がい者福祉作業所）の延長みたいなものだったし、作業所にいる高齢者の行き場所の問題もあったから比較的スムーズにできた。でも在宅生活のもう一つの要であるヘルパー事業はまったくの未経験だった。その時に出会ったのが吉田みさぎさんで、彼女が全ての事務手続きをこなしてくれた。

「私の最初の仕事はあいあいの電話を敷いたことです」と吉田さんに言われたけど、それくらいに全てをお願いしていた。後に聞いてみたら、吉田さんは ALS 患者のヘルパーさんをやっていたことがあって、その時に佐々木公一に会ったこ

とがあると言っていた。これも繋がりだなあと思う。

(佐々木節子 わの会常任理事)

=====◆=====◇=====◆=====

現在の各事業の現状と課題が各管理者より報告され、さらに今回の学習会ために実施したアンケートについても、その一次集計結果が報告されました。

◆◆◆アンケート結果から一部◆◆◆

Q1：あなたの感じる「わの会らしさ（他事業所との違い）」を教えてください。

- ・他の事業所は知りません。今で満足しています
- ・家庭的（旅立つ時も皆さんに送っていただきたい会）
- ・制度の利用はもちろんですが、制度の狭間で困っている方たちの受け皿としての役割を果たしている部分に感心しています
- ・親身になってくれる
- ・家庭的
- ・やることを決めた時の行動は良いが、計画（準備期間など）が杜撰
- ・一人の困ったに真剣に耳を傾けるところ、解決までは行かなくても考えようとするところ
- ・利用者の希望を取り入れた活動と寄り添った支援
- ・アットホームでいつもにぎやかなところ
- ・分け隔てない、つながり支え合いで成り立っているところ

Q2：「わの会」にどのような事を期待しますか

- ・6つの柱で手をつなぎ出来る“輪”の姿に「敬意を表します」といえる絆
- ・今後ともお付き合いさせていただきたい。もっと人が増えれば思っています。経済的にももっと豊かになっていただきたい
- ・特養が出来るよう発展してもらいたい
- ・未永く続いて欲しい
- ・歩行訓練を継続して欲しい
- ・積極的に生きられるよう手助けして欲しい
- ・ショートもできるようにして欲しい
- ・「わの会」らしい介護を続けてほしい
- ・どんな人でも参加できる企画を考えて欲しい

・グループホーム、生活施設を作る（安心して最期を迎えられる施設）

・認知症に特化したサービスの提供

=====◆=====◇=====◆=====

府中地域福祉を考えるわの会から20年、法人格を取って介護・福祉事業を開始してから14年が経ちましたが、それまでは前を向いて実践と課題の解決にむけて全力で取り組んできました。

単年度、短期間の振り返りはありましたが、今回のように20年を振り返るといことは実は初めての取り組みです。



今回の研修に参加された理事の関谷先生は「アンケートには、良いところが多く書かれていてピックアップされているが、失敗したことや悪かったところにも目をやって取り上げていければよいと思います」とアドバイスをくださいました。失敗にしっかり向き合って、過ちは繰り返さないで、経験を未来への糧とするための取り組みが今後必要になってきます。

今回の研修では、わの会の理念を再確認することと、スタッフ間の各事業への理解を共有することが到達点となりましたが、ここに留まらず、将来に向けた取り組みの為に研修を重ねたいと思います。



特定非営利活動(NPO)法人 わの会
〒183-0034 府中市住吉町1-60-10
TEL(代表):042-360-3626

【6つの事業】
デイサービスりんりん (通所介護)
デイサービス第2りんりん (認知症対応型通所介護)
ヘルパーステーションあいあい (訪問介護)
府中自立支援ネットワーク わの会 (自立支援)
重度訪問介護従業者養成研修講座 (研修事業)
わの会相談支援事業 (相談事業)



↑ わの会HPはこちら
<http://www.wanokai.com>

コンサート成功のためにお力添えを！！

NPO法人わの会 20周年記念イベント『いのちかがやけコンサート』

日 時：平成29年1月28日(土) 18:30～

場 所：府中グリーンプラザ けやきホール

どんな重い障害を抱えても、老いを重ねても私は私らしく生きていたい。そんな思いを持ち寄って結成されたわの会も20年、これまでの感謝とこれからも変わらぬご支援を願って1月28日にコンサートを行います。

◆◆◆皆様の声◆◆◆

◆りんりに通所するAさんは、コンサートのチラシを見て、とてもうれしそうにされ、「行きたいな」と何度も言われたそうです。御家族もそんなAさんの気持ちを察して、一緒に参加しますとの連絡がありました。



◆ボランティアのBさんは、ご自身も合唱サークルに加入されている方です。「ピンチなの」とのメールに「20枚預かります。沢山の人の聴いて頂けるといいですね。協力させていただきます」と、助かります。

◆保険外交員にお願いしたところ「美空ひばり大好き。他にも好きな人がいるからすすめるね」

◆保育所の園長さん「保育もとても大変。介護も大変ね。広告もチケットもご協力します」

◆出演者の三多摩青年合唱団の指揮者の方から、「チケット苦戦しているようですね。宣伝するために、私達ボランティアで飛び入りさせてくれるところがあったら、ご紹介ください。」早速1月12日東京土建の新年会に参加させていただくことになりました。

◆「夜だから、寒いから」としり込みしている人には、「私達もまもなくデイサービスや、ヘルパーが必要になるのよ。利用する人の立場で、運営している所は、大事なの、応援しましょう。私達自分の為にも」

◇◆◆トピックス◇◆◆

◇コンサートでつながろうと考え、福祉作業所の製品を買い上げ、コンサートの参加者に贈呈します。100個ずつ5か所の作業所に依頼予定しています。

◇私達もわの会コーラスとして一幕出演します。10数年前から、わの会コーラスが利用者を中心に月2回のレッスンを続けてきました。先生は、村口洋子さん(現在、おかあさんがりんりの利用者)、今年12月3日には、障害者のワイワイフェスティバルにも参加。今回はさらに多くのヘルパー、学生アルバイトさん、御家族、利用者さんなどが加わり、“ビリーブ”と“野に咲く花のように”を歌います。どなたでもどうぞ一緒に歌ってください。

いのちかがやけコンサートで私達も舞台上でコーラスしましょう！

合唱曲 “ビリーブ” “野に咲く花のように”

練習日 1月10日(火) 15:00～17:00 17日(火)・24日(火) 18:00～20:00

場 所 住吉文化センター予定

★詳しくは、事務局までご連絡ください。TEL：042-360-3626

